

## 燕市新商品新技術開発支援事業実施計画書

20●● 年 ● 月 ● 日

### 1. 申請者の概要

企業名	株式会社○○			代表者役職	代表取締役社長		代表者氏名	○○ ○○			
担当者 連絡先	所属	○○部			氏名	○○ ○○		ふりがな	○○○○ ○○○○		
	TEL	0256-○○-○○○○			FAX	0256-○○-○○○○		MAIL	○○○○@△△.co.jp		
所在地	〒	959	-	○○○○	燕市 ○○○○1-2-34			創業年月	1980 年 4 月		
業種	大分類	製造業				中分類	金属製品製造業				
常時雇用する 従業員数	30		人	(うち正社員	25		人)	資本金	30,000 千円		
事業概要	○○の製造・販売 △△の製造・販売				主要製品 サービス	○○ △△					

### 2. 補助金・助成金の交付実績（該当する場合のみ）

過去5年間に於いて、製品・サービス開発、創業、設備投資、販路開拓などの補助金・助成金のうち、国・県・市等から受給済の補助・助成事業について、直近から順に記載してください。

No.	申請年度	申請先	補助金名称	申請内容	助成金額	本申請との 経費の重複	本申請との 内容の重複
1	2025年度	燕市	新商品新技術開発支援補助金	○○の開発事業	2,100 千円	無	無
2	2024年度	国	ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金	○○の開発	12,000 千円	無	無
3					千円	選択してください	選択してください

※4つ以上ある場合は特に関連のあるものを3つ記載してください。

# 燕市新商品新技術開発支援事業実施計画書

## 3.事業内容について

※記載内容が重複しても問題ありませんので、すべての項目を記載してください。

### (1) 事業名

〇〇加工技術を応用した〇〇可能な〇〇〇〇

の開発事業

### (2) 事業内容

本事業の概略を簡潔に記載してください。（箇条書き3～5文程度）

※開発の背景、ターゲット、商品の強み、開発課題等を記載してください。

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 近年の〇〇の拡大により、市場では、〇〇〇機能をもつ〇〇に対する需要が高まっている。 |
| 2 | ターゲットはアジア圏の〇〇を用いて〇〇を行うユーザー。               |
| 3 | 弊社が得意とする〇〇加工技術を活かして、〇〇機能を付与した〇〇を開発する。     |
| 4 | 商品化にあたり、〇〇を〇〇状に加工することに開発課題がある。            |
| 5 | 販路は〇〇国の商社〇〇社を通じた代理販売や自社ECサイトを予定。          |

#### ①開発の背景

開発の経緯や市場を取り巻く現況のほか、既存事業との関係性も含めて具体的に記載してください。

弊社では、創業以来、〇〇の製造・販売を続けてきた。  
近年、〇〇における〇〇の需要の高まりにより、既存製品の〇〇において、〇〇〇という要望が寄せられている。  
〇〇機関による調査結果によると、アジア圏において〇〇のニーズが非常に高まっており、今後〇年間で〇〇億円まで市場が成長することが見込まれていることが判明した。  
弊社が〇〇の製造で培った〇〇加工技術を応用することで、〇〇〇〇に、これまでにない〇〇機能を付加することができ、成長著しい〇〇市場において新たな顧客を獲得できると考え開発に至った。

#### ②開発の目的

開発を行うことで得られる成果や、解決したい課題等を含めて具体的に記載してください。

新商品の開発により、国外市場において新たな顧客の獲得につなげていきたいと考える。  
弊社の既存製品の国外市場における売り上げ実績は、〇〇年に〇千万円、△△年に〇千万円と好調に推移しているが、今回開発する新商品を足がかりに、国外市場におけるさらなる販路拡大につなげたい。  
市場分析に基づく今後5年間の売上計画では、年率〇%の向上を見込んでいる。  
加えて、～

③事業概要

当事業の全体概要を具体的に記載してください。（何を、どのように開発し、誰に、どのように届けるか）

必要に応じて、イメージ図、開発組織図、画像等の補足資料を用いて記載してください。

【記入例①】

■商品の概要

- ・〇〇を行う際に〇〇するための〇〇。
- ・従来品は〇〇という課題があった。
- ・〇〇加工法を応用し、従来品と比較し〇〇を〇%向上。
- ・~~~~~



■加工方法について

①〇〇〇〇

~~~~~  
~~~~~

②△△△△

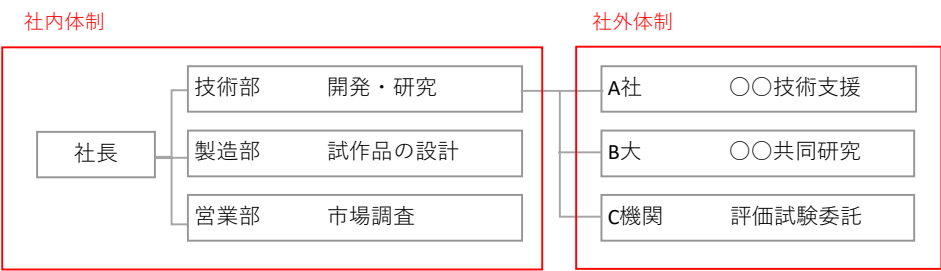
~~~~~  
~~~~~

③××××

~~~~~  
~~~~~



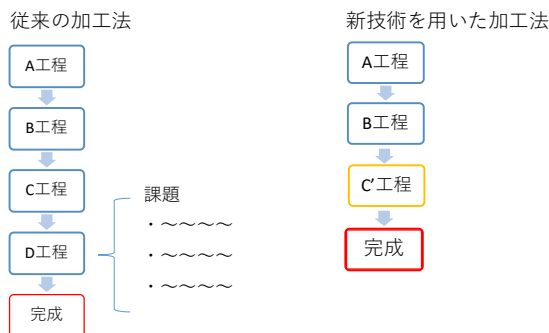
■開発体制



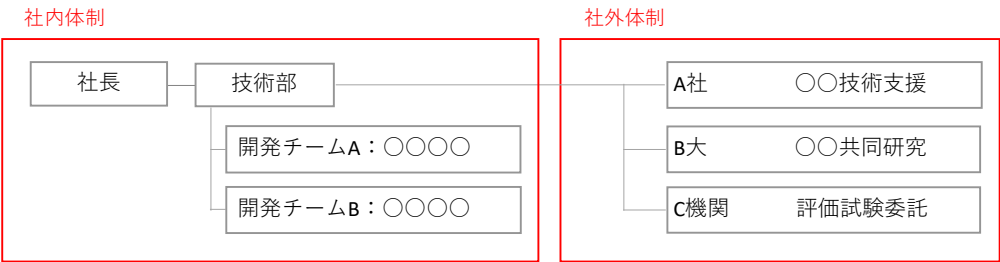
【記入例②】

■開発技術の概要

これまで、〇〇の加工においては、〇〇のため、〇〇の工程（C）の後、〇〇の工程（D）を経る必要があった。これはC工程において発生する〇〇を〇〇で除去する必要があるためである。〇〇については、〇〇物質を多く含んでおり、自然環境に対する影響が以前から指摘されてきた。そこで、本事業において、D工程を経ず〇〇の加工を完了できるよう、C工程の新たな加工法（C'工程）を研究開発する。



■開発体制



④市場性

(1) 商品コンセプト				
※商品の特徴、ターゲット、提供する付加価値等について簡潔に記載してください。(新技術開発の場合は空欄でも可)				
~~が無くても△△できる○○, すべての○○ユーザーを△△のストレスから開放する, ~~したいけど△△が気になる人のための~~できる○○ など				
(2) ターゲットとなる市場、顧客				
※新商品開発の場合、ペルソナ像があれば記載してください。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア圏の○○を用いて○○を行うユーザー</li> <li>・既存品の○○の機能には満足していないが、△△は使用したくないユーザー</li> </ul> <p>(ペルソナ像記入例)</p> <p>35歳/女性/独身</p> <p>学歴：○○大学卒/職業：IT営業/年収：650万円/居住地：東京都○○区/勤務地：東京都○○区/通勤時間：電車で○○分</p> <p>趣味：ランニング、登山/使用SNS：LINE、Instagram、YouTube/価値観：~~/悩み：~~</p> <p>ストーリー</p> <p>~~~~~、~~~~~。</p> <p>~~~~~、~~~~~、~~~~~。</p>				
(3) (2) にニーズがあると判断した根拠				
※市場調査の結果等、具体的な数値を用いて記載してください。				
<p>○○の調査によるとアジア圏における○○の市場は直近5年間で○○%成長している。</p> <p>一方で○○の品質において、○○○○や○○○○といった課題がある。その背景には○○○○といった事情があり、○○を実現できていない。</p> <p>○○に対し○○という悩みを持つユーザーの多くは、△△を代替品として用いることが一般的ではあるが、○○と比較し高価な上、○○○○という点から使用を避けられている面もあり、完全な代替品には至っていない。</p> <p>加えて、弊社が○○を通じて実施した調査の結果によると、○○機能に対するニーズは全体の○○%に及ぶことより、○○市場において○○機能をもつ○○○○のニーズは非常に高いと判断した。</p>				
(4) 販路開拓の手法、方策				
以下のとおり、○○圏の事情に合わせた販売戦略を検討する。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・○○国の商社○○社を通じた代理販売</li> <li>・海外見本市○○○○への出展</li> <li>・○○語に対応した自社オンラインサイトでの直売</li> </ul>				
(5) 競合製品、類似製品 ※無い場合は比較対象となり得る自社製品や業界標準等を記載				
No.	製品名	販売元または開発元	販売価格	主な機能・仕様
1	○○○○	(株)○○	3,000 円	○○○機能、重量：○○g、サイズ：○×○×○cm
2	△△△	△△(株)	4,500 円	△△機能、重量：△△g、サイズ：△×△×△cm
3			円	
(6) 助成事業終了後の売上計画				
		初年度	2年目	3年目
売上高 (円)		2,000,000円	8,000,000円	20,000,000円
算出根拠		4,000円×500個	4,000円×2,000個	4,000円×5,000個
	※単価×数量等の具体的な算式を用いて記載			

### ⑤新規性

下記要素を内容に含んで記載してください。

- (1) 既存製品・技術と比較し、新しさを示す開発要素
- (2) 自社既存技術との関連性

従来、〇〇〇〇においては、〇〇〇製法を用いて製造することが基本であった。近年、市場においては従来品に〇〇機能を加えた製品の需要が高まっているが、〇〇機能には〇〇〇法を用いて加工することが主流となっており、この方法では品質面においても課題が多くある。

今回開発する〇〇加工法を応用した製法は、弊社が〇〇〇〇の製造で培った独自の〇〇技術により、既存製品と比較して〇〇性能を〇〇%向上させることができる見込みである。

さらに、この製法では〇〇を使用せずに加工することが可能になるため、コスト面においても、既存製品と比較し〇〇%のコストカットを実現できる見込みである。

加えて、～

### ⑥優位性

既存または類似の製品・技術と比較し、優位性や優秀性を示す具体的要素を記載してください。

既存の〇〇は〇〇製が主流で、〇〇の面では非常に優れている一方で、〇〇の面において課題が多い。

今回開発する〇〇製法は、これまでなかった〇〇を用いた製法であり、既存製品と比較して〇〇%の軽量化と〇〇%の耐久性向上を実現できる見込みである。これによって、〇〇の様なユーザーにとって非常に〇〇できるものと考えられる。

これは、長年〇〇の使用において課題と考えられてきた〇〇も解決する可能性があり、自然環境に対しても〇〇で寄与できる可能性がある。

加えて、～

### ⑦地場への波及効果

本事業により地場にもたらす経済的波及効果、技術的波及効果等について具体的に記載してください。

<p>本開発によって〇〇することができれば、利用者層が拡大し、〇〇業界や〇〇に寄与できる可能性がある。 本事業による〇〇は市内企業への〇〇を生み、〇〇にも繋がり市内経済への貢献が期待できる。 加えて、〇〇～</p>
---

### ⑧開発課題

<p>(1)現段階で把握している開発課題</p> <p>〇〇の製造において、弊社の既存技術を用いて、〇〇を実現することまでは可能であると見込んでいる。 しかし、〇〇機能の実装に必要な〇〇の加工において〇〇という課題がある。 加えて、～</p>
<p>(2)本補助金を活用した課題解決のためのアプローチ方策</p> <p>〇〇の開発は非常に難易度が高く、まったく新しい方法となるため、非常に多くの開発コストがかかることが見込まれる。 特にコストのかかる〇〇開発に本補助金を活用することができれば、開発にかかる期間を〇か月以上短縮することができ、市場における優位性を確保できるものとする。</p>

(3) 技術導入

①技術導入予定の有無

大学や公設試験所、他企業など外部からの技術導入や技術支援を受ける予定がありますか。

有

②技術導入の概要

1	技術支援元団体名	株式会社〇〇		
	技術支援元団体所在地	〒	959 - 〇〇〇〇	新潟県 燕市〇〇5-6
	技術導入の詳細（導入技術の概要や方法について記載してください。）			
	<p>・ 〇〇機能を実装するための〇〇素材の共同開発                      (株)〇〇が得意とする〇〇において、〇〇の製造方法に最適な〇〇加工を共同で開発する。</p>			
2	技術支援元団体名			
	技術支援元団体所在地	〒	-	都道府県
	技術導入の詳細（導入技術の概要や方法について記載してください。）			
3	技術支援元団体名			
	技術支援元団体所在地	〒	-	都道府県
	技術導入の詳細（導入技術の概要や方法について記載してください。）			

(4) 事業スケジュール

①事業期間

開始予定日： 20●● 年 6 月 ● 日 ~ 終了予定日： 20○○ 年 2 月 ○○ 日

②市場投入予定時期

20○○ 年 5 月頃

③事業スケジュール

(1) 具体的な作業項目を入力

※本事業の全体像が分かるよう、費用が生じない作業項目についても入力してください。

(2) 関連する支出明細の番号を入力

(3) 自社作業に該当する期間は「○」、他社作業に該当する期間は「●」、両方に該当する期間は「○●」を入力

※①事業期間及び②市場投入予定時期と時系列の整合が取れるように入力してください。

※交付決定日以降に発生（発注）し、事業期間中に終了（支出）したもののみが補助の対象になります。

No.	作業項目	支出 番号	作業期間													
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	市場調査		○	○												
2	○○社と○○の共同開発	旅-1			○●	○●	○●									
3	素材選定						○	○								
4	一次試作設計	委-1								○●	○●					
5	〃組立	設入-1 原-1									○					
6	〃評価	人-1										○				
7	2次試作設計	委-2										○●	○●			
8	〃組立	原-2											○			
9	〃評価	人-1												○		
10	海外展示会の出展															○
11																
12																
13																
14																

(5) 事業資金の支出内訳

事業に要する経費 (A)	37,114,000円
補助金交付申請額 (C)	2,500,000円
補助対象経費 (B)	6,600,000円 × 補助率1/2

※上限250万円  
※千円未満切捨て

(単位：円)

費目	支出番号	種別 (内容等)	単価 (税抜)	数量	事業に要する経費 (税込)	補助対象経費額 (税抜)	補助金交付申請額 (各費目の補助対象経費 × 1/2以内)
謝金	謝-1						
	謝-2						
	謝-3						
費用弁償	弁-1						
	弁-2						
	弁-3						
設備導入費	設入-1	〇〇用専用機械の購入	30,000,000円	1	33,000,000円	10	導入経費 (税抜) ÷ 耐用年数
	設入-2					1	3,000,000円
	設入-3					1	1,500,000円
設備借上料	設借-1						
	設借-2						
	設借-3						
原材料費	原-1	〇〇の購入	300,000円	1	330,000円	700,000円	350,000円
	原-2	△△の購入	200,000円	2	440,000円		
	原-3						
	原-4						
	原-5						
	原-6						
外注加工費	外-1						
	外-2						
	外-3						
委託費	委-1	一次試作設計委託料	300,000円	1	330,000円	500,000円	250,000円
	委-2	二次試作設計委託料	200,000円	1	220,000円		
	委-3						
調査費	調-1					補助対象経費 (B) の1/3を超える場合 →上限額が入る (赤字)	
	調-2						
	調-3						
人件費	人-1	〇〇試験担当者人件費①	1,200,000円	1	1,320,000円	2,200,000円	1,100,000円
	人-2	〇〇試験担当者人件費②	1,100,000円	1	1,210,000円		
	人-3						
旅費	旅-1	〇〇への旅費 (2名・往復3回分)	120,000円	2	264,000円	200,000円	100,000円
	旅-2						
	旅-3						
その他経費	他-1					20万円を超える場合 →上限額が入る (赤字)	
	他-2						
	他-3						
合計					(A) 37,114,000円	(B) 6,600,000円	(C) ※上限250万円 2,500,000円

※飲食等のまかない費、消費税及び地方消費税、銀行等への振込み手数料等は補助の対象外

※人件費は補助対象経費の合計額 (B) の1/3を上限とします。

※事業資金の支出内訳作成時は、『申請の手引き』を参照してください。

※記入欄が不足する場合は、別様に記載した書類を添付し、経費内容が全て確認できるように作成してください。

500万円を超える場合  
→赤字

250万円を超える場合  
→上限額が入る